

目 次

新版はしがき
はしがき

第1章 環境史

1-1	世界	1
1-1-1	第1期（18世紀以前）	1
1-1-2	第2期（19世紀）	1
1-1-3	第3期（20世紀前半）	2
1-1-4	第4期（1950年代～60年代）	3
1-1-5	第5期（1970年代～80年代前半）	4
1-1-6	第6期（1980年代後半～現在）	7
1-2	日本	12
1-2-1	江戸時代以前	12
1-2-2	明治時代～第一次世界大戦前	12
1-2-3	第一次世界大戦～第二次世界大戦終了時	14
1-2-4	第二次世界大戦終了時～1950年代前半	17
1-2-5	1950年代後半～70年代前半	17
1-2-6	1970年代後半～80年代前半	19
1-2-7	1980年代後半～現代	19

第2章 環境問題発生メカニズム

2-1	大気汚染	22
2-1-1	発生の仕組み	22
2-1-2	季節による顕著な大気汚染問題	24
2-1-3	わが国の大気汚染問題の変遷	25
2-1-4	わが国の硫黄酸化物・窒素酸化物の濃度の推移	25
2-1-5	世界の大気汚染状況	27
2-1-6	越境大気汚染	31
2-1-7	騒音・振動・悪臭問題	31

2-2 水環境	32
2-2-1 わが国の水資源と用途	32
2-2-2 公共用水域（河川、湖沼、内湾、内海、海域）の水質	34
2-2-3 環境基準が設けられている水質	35
2-2-4 地下水	38
2-2-5 海域の汚染	39
2-3 廃棄物（ごみ）問題	41
2-3-1 わが国の廃棄物（ごみ）の推移	41
2-3-2 わが国のリサイクル率	44
2-3-3 最終処分場の残余年数の推移	45
2-3-4 廃棄物（ごみ）の不法投棄件数	45
2-4 有害化学物質	47
2-4-1 有害化学物質の発生源と人や生態系への暴露	48
2-4-2 身の回りの有害化学物質	50
2-4-3 内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）	51
2-5 地球環境問題とは	53
2-6 地球温暖化	55
2-6-1 地球温暖化とは	55
2-6-2 地球温暖化のメカニズム	57
2-6-3 地球温暖化と今後の見通し	62
2-6-4 地球温暖化の影響	65
2-7 オゾン層の破壊	67
2-7-1 オゾン層とは	67
2-7-2 オゾンの生成・消滅	67
2-7-3 オゾン層破壊の推移	68
2-7-4 対流圏オゾン	69
2-8 酸性雨	70
2-8-1 酸性雨とは	70
2-8-2 わが国の酸性雨の状況	71
2-8-3 東アジア地域の酸性雨の状況	72
2-8-4 酸性雨の被害	73

2-8-5	大気汚染物質とともに運ばれる黄砂現象	74
2-9	海洋汚染	76
2-10	森林破壊	78
2-11	砂漠化	81
2-11-1	砂漠化とは	81
2-11-2	砂漠化の原因	83
2-12	生物多様性の喪失（野生生物の減少）	84
2-12-1	生物多様性とは	84
2-12-2	野生生物の減少	86
2-12-3	野生生物の減少や絶滅の原因	88
2-12-4	野生生物の減少（生物多様性の喪失）による影響	90

第3章 環境法・政策・制度

3-1	環境基本法	92
3-1-1	制定の背景	92
3-1-2	法の内容	93
3-2	環境基本計画	95
3-2-1	第4次環境基本計画の概要	96
3-3	環境政策のための基本的な考え方と各種手法	98
3-3-1	基本的な考え方	98
3-3-2	各種手法	101
3-4	環境アセスメント（環境影響評価）	103
3-4-1	環境アセスメントの機能	105
3-4-2	環境アセスメント制度の経緯	105
3-4-3	環境アセスメントの手続きの流れ	107
3-4-4	環境アセスメントの実施のポイント	107
3-4-5	環境アセスメントの適切な運用への取組み	108
3-4-6	地方自治体における取組み	109
3-4-7	戦略的環境アセスメント（SEA）制度	111
3-4-8	課題と法改正（2011年）	112

3-4-9	その他の環境アセスメント	112
3-5	汚染防止	113
3-5-1	規制手法	113
3-5-2	大気汚染	114
3-5-3	水質汚濁	119
3-5-4	騒音・振動・悪臭	121
3-5-5	地盤沈下	123
3-5-6	土壌汚染	123
3-5-7	ダイオキシン類による汚染	125
3-5-8	石綿（アスベスト）による健康被害	127
3-5-9	公害健康被害の補償	128
3-6	脱温暖化社会の形成	129
3-6-1	国際的な枠組み	129
3-6-2	わが国の対策	130
3-7	廃棄物と循環型社会の形成	141
3-7-1	廃棄物処理の変遷	141
3-7-2	廃棄物とは何か？	142
3-7-3	廃棄物処理の原則と現状	144
3-7-4	循環型社会形成推進のための法律	145
3-8	有害化学物質対策	165
3-8-1	現状と対策	165
3-8-2	化学物質審査規制法（化審法）	167
3-8-3	PRTR 法または化学物質管理促進法（化管法）	169
3-8-4	シックハウス症候群防止対策	172
3-9	自然環境の保全	172
3-9-1	地域的自然環境の保全	172
3-9-2	自然再生推進法	176
3-10	野生生物の保護	177
3-10-1	保護に関する法制度	177
3-10-2	種の保存法	179
3-10-3	外来生物法	179
3-10-4	生物多様性基本法	181

3-10-5 法制度の問題点	182
3-11 環境教育	182

第4章 ステークホルダーの参加と協働

4-1 地方自治体	184
4-1-1 地方自治体の役割	184
4-1-2 環境モデル都市・環境未来都市	185
4-2 企業	187
4-2-1 環境マネジメントシステム	187
4-2-2 環境報告書	188
4-2-3 環境会計	189
4-2-4 社会的責任投資（SRI）	189
4-2-5 企業の社会的責任（CSR）	190
4-3 環境 NGO・NPO	190
巻末資料	193
主な参考文献	203
索引	205

Topic 目次

- ① 漱石とロンドンのスモッグ (2) ② 持続可能な開発 (Sustainable Development) (6) ③ ボパールの化学工場爆発事故 (7) ④ 共通だが差異のある責任 (10) ⑤ ヨハネスブルグ・サミット (11) ⑥ 鉄道公害と信玄公旗掛松事件 (15) ⑦ 熊本水俣病 (17) ⑧ 黄 砂 (30) ⑨ 光化学オキシダント (スモッグ) の注意報の基準 (30) ⑩ 赤潮・青潮 (39) ⑪ 東アジアの酸性雨 (71) ⑫ ナホトカ号事件 (76) ⑬ K 値規制 (116) ⑭ 国内の温室効果ガスの推移 (132) ⑮ バイオマス燃料 (136) ⑯ 二酸化炭素の地中貯留・CCS (140) ⑰ 豊島産業廃棄物不法投棄事件 (142) ⑱ グリーン購入 (164) ⑲ 環境ガバナンス (185) ⑳ SDGs (191) ㉑ NGO・NPO への支援 (192)